

ワーカーズ

http://www.workers-net.net/
mail workersnet@workers-net.net

毎月1日発行 1部150円 半年1000円(郵送)
郵便振替 00180-4-169433 (ワーカーズ社)

2019/5/1 594号



今号の内容

- ・主権在民の徹底を！ ②③
- ・「令和」と「万葉集」について ③④
- ・本を紹介 「カリブ海の小国 アンティグア・バーブーダとバルバドス」 ⑤
- ・本を紹介 「国境なき助産師が行く」 ⑤⑥
- ・コラムの窓・・・ ⑥
- ・読書室 『国家分裂するアメリカ政治 七顛八倒』 ⑦⑧
- ・エイジの沖繩通信・NO61 ⑧⑨
- ・読者からの手紙 ⑨⑩
- ・色鉛筆・・・ ⑩

国政選挙で安倍政権を退陣に！ ——底堅い政権も最後の幕引きへ——

4月の統一選では、知事選での野党統一候補の少なさと自民党候補の分裂が目立った。野党勢力の低迷と内輪争いの余裕が生じた与党という、政治の閉塞状況を象徴するものだろう。

倍政治に対する受け皿になっていないのだ。沖繩では、現地の闘いを土台に衆院補選で勝利している。現場・現実の闘い、対案力がないなかでの野党分裂では、与党系候補にかなうわけもない。

ただし、底堅い安倍政治も、ここに来て一層不透明感が増している。自民党幹事長がぶち上げた「首相4選」のアドバルーンに対し、それを支持する国民世論は極めて低い。支持が27%で反対が56%だった(朝日3月19日)。

起死回生の政権延命策として、消費税の再々延期と衆参ダブル選挙という「忖度発言」「腹話術発言」

結果は、首長選では現職優位、県議選でも、自民党と公明党が前回の得票率と議席を維持した。これは有権者の間での現状に対する満足度が一定水準で下げ止まっていること、特に若者ほど現状に対する満足度が高いことの反映でもあるだろう。

それに焦ったか、安倍首相は、天皇の代替わりや「令和」への改元イベント、それに新札発行や国民栄誉賞など人気取りに躍起だ。が、新札発行は5年先、国民栄誉賞は当人に拒否されて空振り、天皇代替わりや新元号制定によるイベント効果も長続きするとは考えにくい。得点を稼ぐはずの拉致問題や北方領土も、期待を膨らませるだけで、厚い壁は少しも動かない。肝心の経済や暮らしはといえば、世界経済は低迷期に入り、アベノミクスも綻びが目立つようになった。それに、閣僚や副大臣の辞任もあり、以前から引きずつ

ているモリ・カケ疑惑も引きずつたままだ。費増税の再々延期と衆参ダブル選挙という「忖度発言」「腹話術発言」

のアドバルーンが首相側近から上がった。が、前回のような圧勝の再現という勝算もあるわけではなく、失敗すれば政権のレームダック化は不可避、政権末期状態に陥る。私たちがすれば、安倍政治に取って代わる大胆なオルタナティブを提示できるかどうか、鍵となる。ラディカルな対案を掲げて安倍政権を退陣に追い込んでいきたい。(廣)

大阪での知事・市長ダブル選と衆院12区補選で圧勝した維新の会は、関西以外での県議選で前回の十一議席から今回は全敗、自民党補完勢力としての地域政党化がはつきりした。大阪での圧勝は、中央の政党による「維新包囲網」が与野党ぐるみの「大阪いじめ」だと受け取られ、反撥が拡がった結果だろう。共産党は支持層の高齢化の結果としての微減だろうか。

逆の角度から見れば、自民・公明の与党優位の現実、立憲など野党による草の根の闘いの不在と大胆な提案力の弱さの結果でもある。安



安倍晋三首相の側近が今年10月からの消費税率引き上げの延期に言及した。しかも、その場合には衆院解散・総選挙を断行するとの見方も示し、10連休突入を前に「5月の解散風」が永田町に吹き始めた。

主権在民の徹底を！

天皇制・皇室は国家から切り離す

「平成」の時代が4月30日で終わり、5月1日から「令和」の時代が始まった。個々人の次元で考えればそれぞれ、象徴天皇制や元号などへの考えも千差万別だろう。それらはひとつの風習や文化なのだという受け止め方もあるだろう。が、それらは政治体制や民主主義の根幹にも絡む、大きな問題でもある。天皇の代替わりや新元号への切り替えに際し、今一度、象徴天皇制が孕む課題について考えてみたい。

◆安倍色元号「令和」

今では一ヶ月前の話だが、個人的には新元号が「令和」だと知ってびっくり、哑然とさせられた。特に「令」は命令の「令」であり、「律令体制」の「令」であることが即座に浮かんだからだ。「令和」とは何だ？「命令を唱和」せよか、あるいは「命令による和」か？

ちなみに広辞苑を引くと、「義的な意味として」おおよそ「いいつけ。命令。」とある。二儀は「長官〓県令。」3として「よいこと。めでたいこと。」と出ている。4として「他人の家族などを尊敬するという語「令息」「令夫人。」とある。

「和」もそうだが、「令」もいろいろな意を含んでいる。いる（朝日新聞、4月29日）。「令」は命令〓行政法（政令・省令・条令など）であり、「律」とは刑法のことだ。「律令体制」とは命令と刑罰による中央集権的な統治体制を意味している。

また、「令」は「麗しい」「美しい」の意味があるというが、それは皇帝の元へ家臣が整然とひれ伏す様子を「麗しい」「整った様子」という意味での「うつくしい」「うるわしい」という意味だ、という説もある。現に、「令和」の考案者と言われる中西進氏も、「令」は安倍首相が言う「美しく」ではなく「うるわしく」と言うべきで、両者はイコールではない、「うるわしい」は整っている美しさのことである。

「令」の多義的意味を念頭に1人ほくそ笑んでいるのだろう。国家主義的発想に傾倒している安倍首相ならではの選択と説明という以外にない。

とはいえ、元号は制定されてしまえば単なる記号や符合のようにも扱われる。受け入れられる側としても、単なる「自

分史」に引きつけて使用している人も多いだろう。元号だけ取り出して難癖つけしても、それほどの意味は無いともいえる。西暦にしても宗教的な出自を持っている。新元号制定という代替わりの政治シヨール・劇場化の寿命は短いものに終わるだろう。

◆元号は卒業へ

実際、平成から令和への改元に伴って、多くの企業は西暦使用に傾いている。今年「顧客の6割が有価証券報告書で西暦標記に変えた」という（宝印刷）。外務省も、省内外文書で今年から西暦使用に改めるといふ。他にも変える企業や組織は多い。

また、元号の日常使用についての調査では、全年代中で安倍内閣支持は若者で一番多いが、元号の日常使用では逆だといふ。全体が元号

「世の中の雰囲気が変わる」と答えた割合でも、全体で「変わる」が37%、「そうは思わない」が57%だった。50代では「変わる」が50%、「変わらない」が46%だったのに対し、18〜29歳では「変わる」30%、「変わらない」69%だった（同）。若者は一過的なイベント感覚は別にしても、天皇代替わりや改元には冷めているわけだ。

蛇足になるが、私個人としては、物心が付いた時から「昭和」がついて回り、西暦と25年違いという計算しやすさもあって日常でも西暦との併用にそんなに違和感はない。併用が面倒になったから。頭から離れてしまった。西暦換算が面倒になったから。今回の改元を機に、はっきりと元号使用拒否派に切り替えようかと思っている。「令和」

◆平和・護憲と皇統継承行為

最近の世論調査では、皇室や象徴天皇制への親しみや支持が落ちてきた。高まっている。今年4月の調査では76%が「皇室に親しみ」を感じているという。平成天皇が即位した89年には54%だったから、この30年の間で20%以上増えたことにな

これは、平成天皇による激戦地への慰霊の旅や被災地への慰問などを重ねる姿、またことあるごとに発する平和への思いなどに対する好感が寄与しているのだろう。その上、体力の衰えを理由とする生前譲位の「お言葉」が、同じく高齢化社会のなか、けなげに公務に励む天皇への親近感ともいえるだろう。

付け加えれば、安倍政権に

なつて政権と天皇のあいだのつばぜり合いが目立つようになった。あの戦争法の制定や改憲志向が鮮明になる中、天皇による平和への想いや護憲を強調する姿勢だ。安倍首相にとつては目障りな存在だと映つただろうが、リベラル・左派の中には安倍政権の暴走への歯止めとして天皇に期待する声も出てくるようになった。

とはいえ、天皇による平和の願いや護憲は本心から出たものだとしても、それだけが理由というわけでもない。平成天皇が「全身全霊を傾けて」取り組んできたとする「公的行爲」。それは象徴天皇という地位が明記された現行憲法を守ることで、そうした姿勢を貫いていくことの先に象徴天皇制が国民に受け入れられ、ひいては象徴天皇制と皇室家の存続が保証されるという認識から導き出した行為なのだろう。

こうした「象徴天皇としての務め」を、平成天皇が「全身全霊を込めて」果たしてきたのは事実だろうし、こうした両面相まって、それを主権者たる国民が受け入れてきてしまった、というのが実情だった。

◆象徴天皇制は廃止へ

その象徴天皇制は、一部の論者が言うような、単なる風習や文化におさまるものではない。特定の個人を国民の上に置くこと、普遍的な人権を否定された特殊な個人を作り出すことは、表裏の事なのだ。

その象徴天皇制は、かつては平和で幸福な家庭・家族像を提供することで国民に受け入れられた面もあったが、家族像が様変わりしているいまでは受け入れられる理由も変化している。慰霊や慰問などの行為を自分たちになり代

わつて実行する天皇像を定着させ、それを国民に受け入れられることで国民統合の象徴として機能する、それが平成天皇の自画像になった。

が、象徴天皇制の役割はそれにとどまるものではない。象徴とはいえ天皇制は「一人の上に人をつくる」ものであり、本来は国家体制としての民主主義、主権在民と相容れないシステムである。その相容れない中央集権的で独裁的統治システムが、象徴という曖昧な概念で民主主義体制の中にビルトインされ、常に主権在民の意識を掘り崩す作用をまき散らしているわけだ。

また、平和態勢づくりや民主体制の強化、それに戦地慰霊や被災地慰問などの公的行爲は、本来は私たち主権者としての国民の努力、すなわち政治の領域や共助〓ボランティアの活動として行われるべきものだろう。

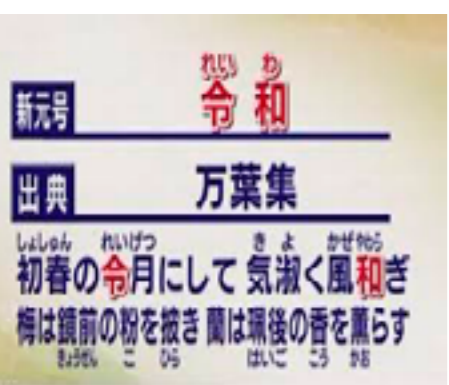
象徴天皇制は、本来は主権者たる国民自身の義務と権利を棚上げにしていること、それを天皇という特別の存在に委ねること、要するに、国民の当事者主権を代行主義にすり替える、おまかせ民主主義を助長する性格を持つのだ。国民の自由や権利を定めた



「令和」と「万葉集」について 「貧困」や「戦争」への民衆抵抗の心が反映

四月一日、新元号が「令和」（れいわ）に決定したと発表され、その出典は「万葉集」からだと言明されるや、とにかく「万葉集ブーム」が起きている。

奈良時代の官人である大友旅人が、九州の大宰府に赴任



した時に、宴の席で月と梅を愛でながら、歌会を催した事にちなんで命名した、というわけだ。

安部首相は「万葉集は日本が誇る国書」と強調していますが、その本当の価値を理解しているのか疑問です。

「万葉集」は奈良時代に編纂され、約四千五百首の和歌を収録したもので、その詠み人は、王侯貴族から下層庶民に至る幅広い層にわたっているのが特徴です。

中でも山上憶良の詠んだ『貧窮問答歌』には、この時代の貧しい農民の苦しみと切々と詠われている。

●『貧窮問答歌』

なお原文は「万葉仮名」といつて「漢字」を「表音文字」として用いていますので、それを「漢字仮名混じり訳」した文を、以下に示します。

【漢字仮名混じり訳】

「人茲に、吾れも作るを、綿も無き、布肩衣の、海末の如、わわけさがれる、襤褸のみ、肩に打ち懸け、伏慮の、曲慮の内に、直土に、藁解き敷きて、父母は、枕の方に、妻子どもは、足の方に、囲み居て、憂へ吟ひ、竈には、火

気ふき立てず、甌には、蜘蛛の巣懸きて、飯炊く、事も忘れて、鶴鳥の、呻吟ひ居るに、いとどきて、短き物を、端裁ると、云へるが如く、楚取る、五十戸良が声は、寝屋戸まで、来立ち呼びひぬ・・・」

【古語の意味】

「作る」〈耕作する〉、「布肩衣」〈麻でつくったそまつな袖なし〉、「海末(みる)」「海藻の一種」、「わわけさがれる」〈破れてぶら下がっている〉、「襪(かかふ)」「ははって飯を炊くことも忘れ、根が低くつぶれた家」、「曲廬(まげいお)」「ゆがみ傾いた家」、「直土(ひたつち)」「地面にじかに藁を敷いて、父母は枕の方に、妻子は足元の方に、囲むように居て、嘆きうめいており、竈に火も起こせず、甌には蜘蛛の巣がははって飯を炊くことも忘れ、力なくか細い声でうめいているところに、まるで短いものを更に端を切るように、鞭をもつて、村役人が呼び立てに来る・・・」

【ひらがな訳】

「ひとなみに、あれもつくるを、わたもなき、ぬのかたぎぬの、みるのごと、わわけさがれる、かかふのみ、かたにうちかけ、ふせいおの、まげいおのうちに、ひたつちに、わらとぎきて、ちちははは、まぐらのかたに、めこどもは、あとのかたに、かくみいて、うれへさまよひ、かまどには、ほきふきたてず、こしきには、くものすかきて、いいかしく、こともわすれて、ぬえどりの、のどよひるに、いとどきて、みじかきものを、はしきると、いへるのごとく、しもととる、さとおさがこえは、ねやどまで、きたちよばひぬ・・・」



山上憶良像

【現代語訳の要旨】

「世間並みに耕作しても、粗末で破れかけ海草のように垂れ下がったボロ布の服を着て、倒れかけ歪み傾いた家の中で、地面にじかに藁を敷いて、父母は枕の方に、妻子は足元の方に、囲むように居て、嘆きうめいており、竈に火も起こせず、甌には蜘蛛の巣がははって飯を炊くことも忘れ、力なくか細い声でうめいているところに、まるで短いものを更に端を切るように、鞭をもつて、村役人が呼び立てに来る・・・」

●防人の歌

「防人(さきもり)の歌」も有名です。半世紀ほど前の飛鳥時代に、百濟・倭の連合軍が新羅・唐の連合軍に負け、白村江の敗戦があったため、北部九州の防衛に東国の庶民が兵士として徴用されました。しかも旅費も食糧も自腹でした。そんな防人の詠んだ歌も収録されています。「父母が、頭搔(か)き撫(な)で、幸(さ)くあれて、言ひし言葉(けとば)ぜ、忘れかねつる」

●万葉集の本当の価値は？

「万葉集」に収録されている歌は、王侯貴族の歌も、貧しい庶民の歌も、概して率直に涙なくして詠めない歌ばかりではないでしょうか？

「おおらか」でさえあるようです。その背景のひとつに、この時代の気候が比較的温暖であったことを指摘する論者もいます。「気候変動の文明論」で安田義憲氏は、この時代を「大仏温暖期」と呼んで、それ以前の「古墳寒冷期」と対比しています。また「白村江の敗戦」や「壬申の乱」などの大規模な戦乱の時代がひと段落し、まわりを見渡す余裕が生れたこともあるかもしれません。

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、

●「国境なき助産師が行く」

「国境なき助産師が行く」の時代は、2017年5月9日南スーダ(小島稔奈)さんの経歴、1984年7月東京都生まれ、高校はオーストラリアへ留学。帰国後、2005年看護学校へ進学。2009年都内の病院の産婦人科に就職。2014年「国境なき医師団」登録。2014年3月7月、11月12月パキスタンへ。2015年3月9月イラク・シリア、2015年12月、2016年9月レバノン、2016年11月、2017年2月地中海難民捜索救助船、



地球へ行くが、職場です！

パキスタンの女性は多産です。それは、この国で女性が人として価値を認められて

「カリブ海の小国 マニタマバーダとバルバドス」

2019年5月1日 発行 著者 ジョージ石井

著者の石井さんは、1993年ご両親と初めての海外旅行を体験して以来、よく旅をされています。アンティグア・バーブーダは76か国目でバルバドスは77か国目です。今まで、「ペラルーシの傷」「セルビアの陰を見る」「南米の小国ウルグアイ」「珊瑚礁の国ニウエ」「軍隊のないミニ国家リヒテンシュタイン・サンマリノ・アンドラ」「不思議なアルメニア」「ドイツのカニバル」「おじさんの世界一周」「アゼルバイジャンの風景」「マケドニアを歩く」「四国歩き遍路」「スペイン巡礼・ポルトガルの道」「火山群島カーボベル

「秘境スワジランドとレソト」「未知のアルバニアとモンテネグロ」「不思議な不思議なモーリシャス」の本を200円から300円 本はジュンク堂池袋店(新刊のみ販売)新宿模索舎、著者のメルアド hq804200@yahoo.co.jp で購入できます。

アンティグア・バーブーダという国は、カリブ海の東部にありアンティグア島とバーブーダ島とそのほかの小さな島からなっています。南米からカナヌでやってきた先住民

アラワク族が住んでいました。カリブ族やスペイン人に滅ぼされました。カリブ海の国や島に導入された奴隷の数は、1501年から400年間で573万人です。最初の労働力はアラワク人やカリブ人などの先住民でしたが、酷使したためほとんど絶滅しました。次にアイルランド人やスコットランド人の戦争捕虜や政治犯や路上生活者を連れてきました。熱帯のため死亡率が高かった、それでアフリカ奴隷を働かせていました。アンティグアの歴史博物館は、先住民のアラワク族の歴史や黒人奴隷のことが載っています。

本の紹介



「火山群島カーボベル」 続いてバルバドスは、カリブ海で最も東にある珊瑚礁の島国です。4世紀半ばに先住民のアラワク族が住んでいました。1200年ごろ南米から来た好戦的なカリブ族に追放されました。1536年ポルトガル人が上陸するも住まず、1627年

難民救助の活動から見えてきたこと



地球へ行くが、職場です！

パキスタンの女性は多産です。それは、この国で女性が人として価値を認められて

るのは、出産して多くの子供を持つ、女性の立場の低さに憤りをおぼえます。

小島さんは、2回のパキスタンの活動の後日本の病院でアルバイトの生活に戻ります。「国境なき医師団」の活動に参加している人たちは、その活動をしているときは医師団から給料を支給されますが、それ以外は自分で生計をたてなければなりません。

そして小島さんは、イラクのシリア人難民キャンプでの活動に参加しました。そこでは、産科病棟のマネージャーの仕事、他のスタッフとのあつれきがけっこうあったそうです。

小島さんは、「私には助産師というスキルで目の前の人を助けることはできませんが、『戦争』という彼らの根本的な問題を解決するスキルは何もありません」と戦争への憤りを語っています。

地中海難民ボートでの活動は、すごく過酷だったようです。2016年〜17年だけで8000人近くの難民がリビアからイタリアに向けて地中海を渡る途中に命を落とされています。「国境なき医師団」は、リビアからゴムボートで地中海を渡ってくる難民

を海の途中で救助して、アクエリアス号という船で2日間かけてイタリアに送りつけています。その船の中では、難民のごみの処理や食事や医療行為などを行っています。

しかし、イタリアはあまり難民を受け入れたくないようです。難民反対の国民感情やなどです。2018年6月には、アクエリアス号がイタリアから入港を拒否されるといふことが起きました。最終的には、スペインが受け入れました。

次に南スーダンの国連保護区での活動は、とにかく暑い、汚い、きついというものだったそうです。重症患者の分娩や診察や治療を行っています。

著者の小島さんは、海外での活動で述べていることは、女性の地位の低さを感じているそうです。女性は子供をたくさん産まないといふ評価されないと。そして、戦争の代償が大きいと。

この本は、「国境なき医師団」の活動がどんなにたいへんか理解できました。今後も「国境なき医師団」への支援を続けていこうと思います。(河野)

『国家分裂するアメリカ政治 七顛八倒』副島隆彦著 秀和シズテム刊

副島隆彦氏による最新のアメリカ政治の分析本である。本書の発刊は2019年3月15日。当初、本人は『トランプのアメリカ政治』と決めていたのだが、出版社の反対でまずは流れた。その後、担当者が板挟みになり困っているとのことなので、国家分裂を打ち出した書名に決まったのである。この本を書き上げるまでの間、本人にはまさに七顛八倒の苦しみだったと本人は告白している。このように出版される書名の決定権は、ほとんど出版社が持っていることを皆さんは知っていますか。

リカでも日本でもトランプに対する批判的な報道が続いている。なぜならそもそもアメリカの国論が2つに分裂しているからである。そしてプレスピテリアン(長老派)の信仰を持つトランプ大統領は、何をすることも「神に選ばれた自分」との刷り込みから大げさかつ極端な行動を取る傾向があり、それが又ヒラリー派に格好の標的・攻撃材料を提供するものとなるからである。本当にトランプの「見気随気ままの言動には驚かされる。こうした二分された冷徹なアメリカ政治の現実から副島

氏が予言することは何か。それは10年後にアメリカ合衆国は3つの国に国家分裂するとの衝撃的な予言である。話半分でも耳を傾けて、まずはこの本を真剣に読んで貰いたいと私は考える。では一体、3つに分かれるとはどんな分かれ方か。まず1つはニューヨークを中心とした「東部アメリカ」。ヨーロッパ白人社会と生きてゆく。ここには、シカゴを含めた中西部の北の方が入る。2つ目はテキサス州を中心とする農業国の「中央アメリカ」。ここで民主党支持者が多いケン

読書室



この本の最大の眼目は既に紹介したが、その他の重要なものはリンカーン大統領の再評価が始まっていること、さらにヒラリーがムーニー(統一協会)の主要メンバーであること、ヒラリー派の女性議員にはムーニーが多いこと、そしてムーニーを作ったのはロマン・カソリック(ヴァチカン)の中の反共主義の僧侶集団(主にイエズス会)と

訴えだということによって、門前払いするものでした。自衛隊の部隊に国際平和協力業務を行わせ、武器を使用させることは『処分』であり、「日本国民は、受入国の敵対勢力から攻撃を受ける対象となる危険性を受忍する地位に立たされる」(原告準備書面)ことによって平和的生存権・人格権が侵害される、というの原告側の主張です。安保法制改定は憲法第9条の解釈を変えらるものであり、社会通念上受忍すべき限度を超えている。私たちには「平穏な生活を妨げられない利益」がある、等々。

さて、大阪地裁の裁判進行ですが、原告の個別の損害論を主張する段階に入っています。被告側はそんなものは法的保護に値しない、単なる主義主張だという態度です。それでも、今回は午前原告の西谷文和氏の尋問が、午後

コラムの窓



違憲訴訟は隔靴搔痒!

ところが札幌地裁では全国初の判決、それも「却下」という判決が4月22日に出てしまいました。原告の証人尋問も証人調べもなく、突然裁判長が弁論終結と言いだし、弁護団が裁判官忌避を申し立てていたところでした。これは、行政訴訟の対象となる『公権力の行使』にあたらぬ、不適法な

いった回り道をして争われていたのですが、裁判官たちが憲法判断を避け、損害の有無だけで判断しがちなので、原告勝訴はほとんど望めません。過去、小泉首相や安倍首相の靖国参拝違憲訴訟などがあり、判決文のなかでその違憲性が書き込まれたことはありましたが、これらも主文は「原告の請求棄却」、敗訴判決です。誰もが、損害を受けたかどうかなどと原告適格性を問われることなく、この法律は違憲だという主張で裁判を争うことができ、勝訴したらその法律は無効になる。そういう裁判制度を持った国もあるのですから、日本はよほど主権者が蔑ろにされています。選挙権は主権のほんの一部にすぎないのに、それさえ行使することなく統治されることに甘んじているこの国の現状は、まるで前世紀のような有様です。



(晴)

も、鋭い歴史解明のメスが入れられることになったのである。

特に第4章は、これまで人類の指導理念である、「人権尊重、平等、人種差別しない」の理念が音を立てて崩れつつある現状を描いて読み出がある。実に見事な展開である。ここで副島氏に従って強調しておきたいことは、「アメリカ・ファースト」とはアメリカ第一主義などではなく、誰でも知っている「レディ・ファースト」、つまり女性を優先するのと同じ思想の表現であり、何よりも米国の国内問題を優先するということがある。

さらに人類の指導理念が崩壊しつつある現状を受けて副島氏は、これらの指導理念が今にも私たちの上に落ちそうなのにそれを見えない振りして日本国憲法を論じる、この国の論壇の拗くれた、おかしさを厳しく指摘する。

本当は、副島氏が指摘したように私たちは日本国憲法を云々する前に、まずは憲法の上に君臨する日米安保条約、軍事条約を廃止するとの議論を、本気になって開始しなければならぬのである。

(直木)

本土と沖縄のかけ橋をめぐって

エイジの沖縄通信

N061

①米軍が高江の「反対派テント」を勝手に撤去する！

4月3日の夜、高江の「ヘリパッドいらない住民の会」が座り込みのためにN1ゲート前に設置していたテントが突然何者かによって撤去された。翌日、それが米軍の犯行であることが明らかになった。

高江の住民の皆さんは、オスプレイが訓練をするための新しい「6カ所のヘリパッド」建設に反対する運動を続けてきた。その反対運動の座り込みを続ける拠点が、「ゲート前テント」であった。これまで、このような暴挙はなかった。

それにもかかわらず米軍は、今回事前の通告もなく、突然夜中に持ち去ったのだ。沖縄では米軍はまさにやりたい放題である。

しかし、「ヘリパッドいらない住民の会」の皆さんは、すぐに変わりのテントを設置

して座り込みを続けている。撤去されたテントが設置されていた場所について、「チョイさんの沖縄日記」は次のように指摘している。

「テントが設置されていたのは、沖縄県が管理する県道70号線の道路敷である。北

部訓練場は日米地位協定に基づき米軍の専用施設だが、県道70号線は日米地位協定2条4項(a)で、日米の共同使用地となっている。そして日本政府は沖縄県に道路用地として使用させている。したがって県道70号線の敷地の

部訓練場は日米地位協定に基づき米軍の専用施設だが、県道70号線は日米地位協定2条4項(a)で、日米の共同使用地となっている。そして日本政府は沖縄県に道路用地として使用させている。したがって県道70号線の敷地の



「住民の会がすぐに仮設テントを再設置」



「ジュゴンの親子」

管理権は沖縄県にあるのだ」と。

②ジュゴンの死と辺野古工事！

1頭のジュゴンが西海岸の古宇利島付近で死んだ状態(それも全身傷だらけ)で発見された事に、沖縄の皆さんは大変なショックを受けている。

皆さんも知っているように、過去には沖縄諸島沿岸にたくさんジュゴンが生育していた。ところが、近年海の環境

破壊が進む中で沖縄のジュゴンには全滅の危機にひんしていた。それに追い打ちをかけたのが辺野古新基地建設である。沖縄島最大の餌場(海藻藻場)であった辺野古・大浦湾海域で始まった辺野古工事以降、沖縄防衛局の環境アセスメントにおいて3頭のジュゴンしか確認されなくなってしまうた。

このジュゴンの死を知った沖縄の「ジュゴン保護」市民グループの皆さんは、さっそく「沖縄のジュゴン個体群の存続の危機を訴える緊急声明」を発表し、9日には東京の衆議院第2議員会館で報告集会和政府(環境省と防衛省)交渉を行った。

事前の報告集會では、死んで発見されたジュゴンは「個体B」と呼ばれ、子どもの「個体C」と共に古宇利島付近で生育していて、時々餌場である大浦湾に移動していた事が確認されていた。もう1頭のオスのジュゴンは「個体A」と呼ばれ、20年前から大浦湾近くの嘉陽沖で生育していた。

この3頭のジュゴンが毎年元気に泳ぐ姿がカメラ等で確認されてきた。ところが、2014年8月から始まった

辺野古工事以降、泳ぐ姿が確認されなくなり3頭のジュゴンの生育が心配されていたのである。その結果が、ジュゴン「個体B」の死である。

ジュゴンに詳しい沖縄の浦島悦子さんは「B子さん(親しみを込めて、私たちはそう呼んできた)の死因が何だったのかはまだ分かっていない、

しかし、基地建設も含め私たちの営為が彼女を死に追いやったのは確かだ。海を埋め、破壊・汚染し、ジュゴンの生きられない環境にしてしまったツケは、同じ自然界の生き物である私たち自身に返ってくる」と述べている。

私は沖縄のジュゴンが私たちに「警告」を発していると思えてならない。

③山城さんと稲葉さんに不当な最高裁決定

最高裁第3小法廷(宮崎裕子裁判長)は25日までに、名護市辺野古の新基地建設などに対する抗議活動を巡って威力業務妨害や公務執行妨害・傷害などの罪に問われた沖縄平和運動センターの山城博治議長の上告を棄却する決定をした。懲役2年、執行猶予3年とした1、2審判決が確

定した。同様に威力業務妨害の罪に問われた名護市辺野古の稲葉博さんの上告も棄却する決定をした。

那覇地裁判決は「米軍反対運動の中で行われたが、犯罪行為が正当化できない」と判断。福岡高裁那覇支部も支持した。

山城さんと稲葉さんの裁判支援をしてきた「山城博治さんたちの完全無罪を勝ち取る会」は報告書でこの裁判を次のように指摘している。

「沖縄の司法の歴史の中で、これほど異例づくめの裁判が

かつてあっただろうか。山城さんたちの裁判が始まってから、ずっと通常の裁判で考えられない事態が相次いだ。それは、裁判所自体が公判の度毎に厳戒態勢を敷いていることから異常である。

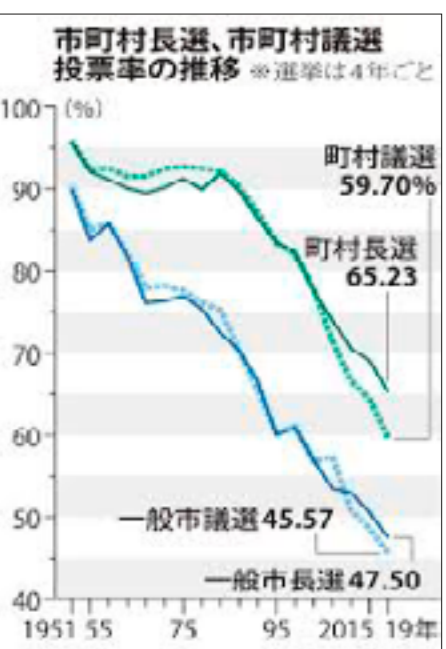
裁判の日、那覇地裁の門扉は固く閉ざされ、その内側に裁判所職員、民間ガ

ドマンが配置され、回りを多数の警察官が監視の目を光らせている。何とも異常な光景である。」

「高江のヘリパッド建設は全国からかき集められた機動隊の暴力によって強行された。辺野古の新基地建設工事はまだ初期の段階だった。山城さんを中心に辺野古ゲート前で阻止行動が展開されれば頓挫しかねない。山城さんを現場から排除すること。政府にとってそれが大きな課題となり、山城さんを狙い撃ちして逮捕



読者からの手紙



「嘆くな、あきうめるな!」投票率の低下は体制批判の表れだ。

する機会をうかがってきたことは容易に推測できる。」

1、2審判決は本質に触れていない」と指摘し「最高裁は外形的に判断するのではなく、運動の背景を聞いてほしい」と述べた。

せる狙いがあることは明らか。なおさら臆するわけにはいかない。今後も現場で声を上げ続ける」と述べた。

総務省が4月22日発表した、統一地方選後半戦の平均投票率は、59市長選

行われた第48回衆議院議員総選挙では、53.68%

こととなる。有権者の過半数以下、四分の一の支持でも「国民」「市民」を代表する首長

47・50%、283市議選45・57%、東京特別区の20区議選42・63%、66町村長選65・23%、

282町村議選59・70%と相次いで最低を更新。4月7日投票の前半戦に続いて、21日投票された統一地方選後半戦の70市区長選のうち、40市区で最低投票率を

更新したとのこと。地方選への関心の低さが問われているが、国政選挙の投票率は、平成29年10月に

選挙で50%の投票率で、権者の意識性にあるが、意識性に影響をあたえているのは何なのか?

選挙に対する関心の低下や投票行動の是非については有権者の意識性にあるが、意識性に影響をあたえているのは何なのか?

更新したとのこと。地方選への関心の低さが問われているが、国政選挙の投票率は、平成29年10月に

選挙で50%の投票率で、権者の意識性にあるが、意識性に影響をあたえているのは何なのか?

「選挙の争点が見当たらない」「投票したい候補者がいない」「投票しても政治は変わらない」と思っている」など、政治への無関心、あきらめが強まっていると指摘されている。

野党を含めて自民党から分裂した政党が多く、基本的には自民党と変わらない政策ばかりでは「争点」は見いだせないし、沖縄の軍事基地に対する民意に背き、辺野古基地建設を強行する安倍政権の行

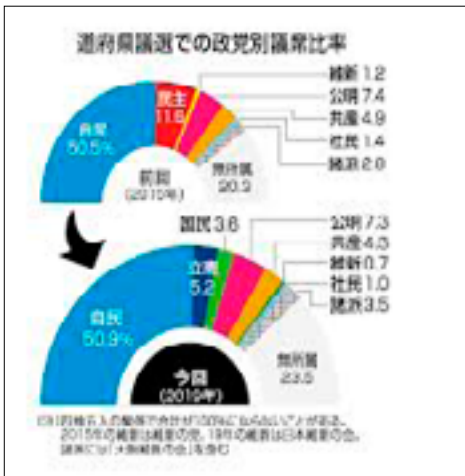
為が続けば「政治は変わらない」とあきらめるかもしれないが、そうした雰囲気にしていくのは、今日の政治に原因があるのとは明らかだ。

選挙行動への不参加は政治的未熟さや低さからだけではないと思う。

今回も自民党系の議員が多く当選したが、ちなみに、投票率が下がると

保守政権側が優位になり、野党候補者は苦戦するという。このことは、保守政権に反対している有権者が投票に行っていないと言ふことなのだ。

保守政権候補



者には入れたくないが入れた候補者もいない、だから面倒だから投票に行かない。諦めかもしれないこの行動は保守・政権側に対する一種の反対行動ではないのか！。諦めさせているのは野党や政権反対勢力にも責任があるのではないのか？！

選挙制度そのものは民主主義的方法ではあるが、今の政治支配の一環でもあり、体制維持の一翼を担っている。国政選挙でも50%に近づき下がりつつある中で、主要な首長選や身近な地方選挙でも50%を切る投票率の低下は体制側からも脅威である。

有権者の政治意識を読み取る必要がある、それに答えるだけの力量を我々が持たなければならぬと言ふことである。(乙見田 慧)

原発再稼働の是非は県民投票で 十一万県民の署名が問いかけたもの

女川原発再稼働の是非を問う県民投票実現を求めて

「県民投票条例の制定」を求める直接請求運動に無取り組み、受任者の皆さんの奮闘によって、二ヶ月間で十一万一千七百四十三人の有効署名が集められました。

約百五十人の傍聴席から「無視された」「県民の声を聞く気がない」ため

者が議論を尽くし意思表示する県民投票は大事にすべきでした。

心からそう思います。

毎日の生活で、原発がなくとも、電気をつけることに困っていません。原発はいらないのです。

女川町にも太陽光発電ができました。東電は地元にお金をいっぱいばらまいていますが、そんな圧力にも負けず、地元の人が土地を貸してくれました。

そして、この運動を通じて多くの方と知り合うことができました。これからも原発再稼働反対を仲間とともに訴え続けていきたいと思っています。(弥生)

た。息が漏れ、涙する人もいました。島の被災者への思いをよせてきました。

党の方針に左右される県議ではなく、自分たちが投票で決めたかったと多くの県民が願っていました。誠に残念で悔しい結果でした。

約一年前から県民投票実現に向け、準備され。署名運動が始まりました。個別訪問や街頭署名など多くの方がこの運動に取り組みました。この運動が多くの県民が知れ渡り、賛成でも反対でも県民投票で決めることが大切だと必然的にみんながそう思いました。

県民の政治参加の機会を認めず、また意志表示する機会を奪った村井知事と自民党、公明党議員の責任は重たいと思います。

約百五十人の傍聴席から「無視された」「県民の声を聞く気がない」ため

約百五十人の傍聴席から「無視された」「県民の声を聞く気がない」ため

約百五十人の傍聴席から「無視された」「県民の声を聞く気がない」ため

色鉛筆

それは、やはり東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の発生から八年、被災地の住民はじこの惨状を目の当たりにし、今なお避難が続く福

